



1村1自然エネルギー プロジェクト

平成 25 年 9 月 19 日



団体名 木曽町

職 氏名 町 長 田 中 勝 巳



木曽町は、信州の自然エネルギー資源を活かした「1村1自然エネルギープロジェクト」を以下のとおり推進しています。

区 分	摘 要			
取組の名称	自然エネルギー導入事業			
取組の主体	木曽町			
取組の構成団体名 (複数の者で構成する場合)	木曽町			
普及する自然エネルギーの種別等	太陽光発電(蓄電池含む)・薪ストーブ設置			
取組の目的	太陽光発電等の自然エネルギー導入により、環境対策と防災拠点を併せ持ったモデル的な施設を整備する。			
地域関係者との協働 の内容	日義地域自治協議会による防災対策、木曽町環境協議会による自然エネルギー管理			
プロジェクトの部門	①地域づくり、②ソーシャルビジネス、③開発研究、④その他(場作りなど)			
取組(事業)の段階	①構想段階、②実施段階、③発展段階			
取組の概要	公共施設へ太陽光発電(蓄電池含む)や薪ストーブをモデル的に整備することにより、施設利用やデータ収集を行いながら町民に幅広く自然エネルギーを理解してもらい、災害時には防災拠点施設として活用していく。			
事務局担当者の 連絡先	担当者所属	環境水道課	氏名	奥原 教裕
	TEL	0264-22-3320	email	kankyo_ct@town.kiso.lg.jp
備 考				

別紙2

1 村1 自然エネルギープロジェクト概要書

区 分	内 容
取組の内容	<p>当プロジェクトは、施設建設と併せて長野県グリーンニューディール基金事業に採択され、太陽光発電(蓄電池含む)や薪ストーブ、LED照明、ペアガラス等による断熱性能の向上、雨水タンク設置による節水、防災関係の耐震・耐火構造等、公共施設としては省エネと防災に対する全てを兼ね備えた施設であり、今までにない、環境と防災対策を積極的に取り入れた、先進的かつモデル的な施設を予定しております。</p> <p>町で環境に配慮した施設は、今回、初めて実施する事業であり、太陽光発電ではデータ収集や分析を行いながら実証実験を行い、一方、薪ストーブは民間活力による現行の薪スタンドを活用しながら、間伐材による薪供給システムの検討を行います。以上のように、施設整備後の維持管理や省エネ対策、自然エネルギーの積極的な活用等について官民が一体となって取り組む予定としていることから、町の環境に配慮したモデル地区にも位置づけられております。</p> <p>[事業実施に向けて]</p> <p>平成24年11月 グリーンニューディール基金事業交付決定 平成25年 2月 設計・工事着手 平成25年12月 完成予定・完成後利用開始</p>
取組を行うコミュニティの区域	木曽町日義上村地区
構成員の役割	
現に活動しているかの有無	有
活動の成果等の帰属	木曽町民
普及推進体制	事業完了後は、日義地域自治協議会や木曽町環境協議会によるデータ収集、事業評価等を行い、次の事業へ反映させる予定。
取組の有効性	平成25年度の発電開始に向けて、整備を実施している。
継続性及び発展性	モデル地区での課題等を整理し、他の地区での実施も検討する。
関係法令の手続き状況	
団体設立年月日	
ホームページ	
備 考	

添付書類 ①組織の規約(市町村の場合は不要)、②プロジェクトの概要書(別紙)、③構成員名簿、④取組の内容の分かる資料(写真等)

注) 変更登録申請を行う場合は、変更箇所を下線を引いてください。

